



月信

4月は
雑誌月間

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2550
<http://www.rid2550.com/>

APRIL
2011-2012

VOL. 10

こころの中を見つめよう、
博愛を広げるために

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

「ロータリーの友」が書店に並ぶ日を願って 第2550地区ガバナー 比企 達男



竹田真臣ロータリーの友地区委員(左)と比企達男ガバナー

ようやく花の便りが届く季節となりましたが、地区協議会も終わり、各クラブとも次年度に向けての準備に余念がないことと思います。一口に栃木県と申しましても、那須RCや塩原RCと足利RCとでは、季節の移り変わりが大分異なることを、クラブ公式訪問で実感いたしました。

ところで、4月は雑誌月間です。竹田真臣ロータリーの友地区委員長から、委員会の模様は御報告があるでしょうから、小生はポール・ハリス語録から、彼がロータリアン誌について語った一節を引きます。

「ロータリアン誌が、いつか一般の人々の関心を引くと大胆にも希望することは、実務的でない、楽観主義と非難されるでしょうか。」つまり、「ロータリーの友」が、書店で他の出版物と並べて置かれる日が来ることを願うことは、楽観主義者の誹りを受けるこ

とでしょうか(比企訳)、と言っておられます。いいえ、とんでもない。私たちはそうなることを目標に、ロータリー活動を続けております。そのご報告ができる日が遠くないと申し上げることは、楽観主義でしょうか。

ご存じのようにロータリアンの義務の一つに、ロータリーの友を読むことが入っております。本年2月号もお読みいただいたことと思いますが、改めてその30ページをお開けくださると、ガバナーのページ欄に、小生の「東日本大震災復興支援」についての提言が掲載されております。連鎖的な大災害の予告がなされている今日、ロータリーはその都度考えて対応するのではなく、災害直後から迅速に対応するためには、「東日本震災復興基金日本委員会」が2012年12月31日をもって解散した後、ロータリー財団、米山記念奨学会と並んで、新たに第三の基金を創設して資金の準備をし、また、「災害対策マニュアル」を作成して、いかなる状況にもシームレスに対応すべきではないか、というものです。このことに関しては、「東日本震災復興基金委員会」の小沢一彦委員長を中心に、先刻お考えになっておられるかも知れませんが、地区のロータリアンのご意見をぜひ伺わせていただきたく願っております。
(<http://www.rid2550.com/>)

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ロータリーの友を上手に活用	2
2012～2013年RI第2550地区PETS開催	3
宇都宮南RC創立30周年記念式典を開催	3
IM開催の報告	4,5
新入会員紹介	6
2月会員増強・出席報告、文庫通信	7
益子参考館復興支援活動について	8

NEWS

ロータリーレート / 1ドル=82円

・主要行事

- 4月18日(火) G S E 派遣メンバー出発
- 4月22日(日) インターアクト足尾植樹活動
- 5月8日(火) G S E 派遣メンバー帰国
- 5月20日(日) 米山記念奨学会新入生オリエンテーション
国際親善奨学金委員会
- 5月27日(日) ローターアクト地区年次大会
- 7月14日(土) 地区大会ゴルフ大会
- 7月15日(日) R I 会長代理歓迎晩餐会
- 7月16日(月) 地区大会

ロータリーの友を上手に活用



2011-2012年度
ロータリーの友地区委員
竹田 真臣
(宇都宮陽東RC)

4月の月間目標は雑誌月間ですので『ロータリーの友』についてお知らせいたします。

皆様もご存じのとおりロータリーの3大義務のひとつに『ロータリーの友』の購読がありますが、現実には『友』の購読が疎かになっているように思われます。義務というと堅苦しい印象がありますが、逆にとらえてみれば『友』の購読ができるのは、ロータリアンの特権です。ぜひ『友』を読みRI・国内の情報を積極的に得てご活用ください。

(ア) 横組みと縦組みとは

ご存じと思いますが『友』は横組みの記事と縦組みの記事があります。

- ・横組みのページは主にRI指定記事が記載されています。

例えばRI会長のメッセージ・各地区ガバナーのメッセージ、各月間に関する記事が記載されています。今年度は被災地支援の情報も掲載されています。

そして横組み4ページには年間のテーマ、ロータリーの誕生、ロータリーの綱領等が記載されていますので特に新入会員の皆さんにぜひ読んでいただきたいです。

- ・縦組みのページは国内の情報が記載されています。

例えば各地区・各クラブ・各ロータリアンの投稿記事などの情報が主に記載されています。

(イ) 掲載のコツとは

100%ではありませんが、掲載されるにはコツがあります。

① 新鮮な情報をご提供ください

これは料理と同じで新鮮で出来立てが一番おいしいということです。

夏の行事を冬の『友』に掲載はできません。

その時節にあった記事、情報が求められます

② 動きのある写真

これは集合写真よりスナップ写真のほうが見る側も楽しく、活動内容がわかりやすいということです。

③ 読者が興味を持ち役に立つ内容

全国のロータリアンが読む雑誌です。

地元の人しか知らないようなお得な情報や他クラブの参考になるような活動ポイントですと、地元や自クラブのPRにもつながります。

ほかにもコツがあるかもしれませんが、あきらめずに掲載にチャレンジしてください。

『友』はロータリー唯一の内部機関誌です。毎月購読し有意義に活用しましょう!!



ロータリーの友編集委員会地区代表委員一般法人ロータリーの友事務所合同会議

2012～2013年RI第2550地区 会長エレクト研修セミナー (PETS) 開催

宇都宮北ロータリー・クラブ
会長 山本 直由

平成24年2月26日(日)、宇都宮グランドホテルにて2012-13年、鈴木宏ガバナー年度の会長エレクト研修セミナーが開催されました(ホストは宇都宮北RC)。

まず、鈴木ガバナー・エレクトより国際協議会出席の報告があり、その中で2012-13年度RI会長、田中作次氏の経歴、人となり、RIの方針(RIのテーマは“Peace through Service”)が披露されましたが、鈴木ガバナー・エレクトが大変に田中氏を敬愛している様子が伺えました。さらに、RID2550地区目標が発表されましたが、その中の1つで「元気なクラブを作って行こう」は、具体的で分かりやすく必ず会員に浸透するであろうと思われました。

昼食後はグループ討論で、次期ガバナー補佐がリーダーとなり、会長エレクト同士による円卓会議が行われ、グループ内の問題や公式訪問について非常に活発な意見交換ができました。その結果は再度の全体会議で全員に披露され、各グループの状況をお互いが共有することとなりました。

講演は、東京米山友愛ロータリー・クラブ会長の林芳さんによる「学友からロータリアンになって」と、国際ライラリアンの藤田雅美さんによる「RYLAについて」の二席で、大変感銘深いお話から二人の活躍ぶりに感心させられました。

長時間の研修でしたが、セミナー後は懇親会もあり、楽しく有意義な1日となりました。



熱心に意見交換が行われた「会長エレクト研修セミナー」

宇都宮南ロータリー・クラブ 創立30周年記念式典を開催

30周年記念実行委員会
委員長 米光 啓彌

平成24年2月18日(土)、宇都宮ニューイタヤホテルにおいて宇都宮南ロータリー・クラブ創立30周年記念式典が、比企地区ガバナーをはじめ、第3分区のガバナー補佐・クラブ会長幹事など多数の来賓の皆様をお迎えして盛大に開催されました。

この式典が、単に祝賀と親睦を図るだけでなく、次の30年に向けた第一歩と位置付け、ロータリーの原点に立ち戻り、今後も確実に進歩するべく、日々研鑽に励む契機となるよう、会員一同肝に銘じた1日でありました。

記念講演は、当クラブ初代会長であった大塚禎先生のご子息である日本大学総長の 大塚 吉兵衛先生から「大学を取り巻く環境と大学の教育構想」を演題とした教育に関する今日的問題について課題と方法を詳しくお聞きしました。

引き続き、懇親会に移り、和気あいあいの懇談ののち参加者全員で「手に手つないで」を斉唱し、散会しました。



第1グループIM 報告

2012年1月22日開催

ガバナー補佐 月江 寛智(黒磯RC)

去る平成24年1月22日(日)午後1時30分から、国際ロータリー第2550地区第1グループIMが黒磯ロータリークラブのホストで、那須町のりんどう湖ロイヤルホテルで開催されました。

比企達男ガバナー並びにカウンセラーに半田久一パストガバナーのご臨席を賜り、佐藤博実行委員長のもとに百数十名の参加を得て盛大に行われました。

クラブ報告では、養護施設、養徳園、養護園の児童に対する大学進学支援基金について西那須野ロータリークラブの益子浩会員の説明、さらに那須町立黒田原小学校の震災被災状況と支援活動について、那須ロータリークラブ笠原智江会長が報告されました。

記念講演は元NHK エグゼクティブアナウンサーで現在は神職セレモアつくば業務執行役員である宮田修様の「アナウンサーが神職になって」の演題で、興味深い内容に楽しく耳を傾け、命のつながりの中に「今中を生きる」事を認識させられました。

懇親会では限られた時間の中でしたが、各クラブ会員との交流と親睦を深めることができました。

グループ内各クラブ並びに黒磯RC会員の奥様方のご協力をも得て、意義あるIMが実施できたことを厚く感謝申し上げます。



第2グループIM 報告

2012年2月18日開催

ガバナー補佐 阿部 孝憲(氏家RC)

第2グループ烏山、氏家、矢板、馬頭小川、高根沢の5クラブは、今年度、氏家RCがホストクラブとなり、例会場のホテル清水荘で開催されました。

最初に、ガバナー補佐より第2グループは、東日本大震災では県内で最も大きな被害を受けた地域であり、会員自身が被害を受けているにも関わらず、被災地への義援金や被災者支援、そして地元地域に放射線測定器を寄贈するなど、日ごろの奉仕活動に対するお礼の言葉や、今回IMのテーマを「出会いに感謝 奉仕に感動」とするなどのあいさつがありました。来賓のさくら市長からも、地域に対する奉仕活動への感謝の言葉があり、また、氏家クラブの記念事業は、学校教育推進のための事業として、氏家中と喜連川中の校長先生に、最新のワンタッチ式テントの目録が贈呈されました。各クラブ現況報告の後、記念講演は元氏家RC会員でニッカウキスキー社長の中川圭一氏による洋酒のお話があり、最後にご自身RCに在籍した経験が、社長就任の要因の1つですと言われ、会員にとり何よりもうれしい言葉でした。懇親会は、氏家出身でミュージカル音楽監督の落合崇史さんと、女性2人の声楽家を加えて、格調高い歌声と楽器演奏のなか和やかに歓談が進み、有意義で楽しいIMと懇親会になりました。



第6、7グループIM 報告

2012年2月18日開催

第6グループガバナー補佐 山口 武夫(栃木RC)
 第7グループガバナー補佐 八木澤 享一(今市RC)

今年度のIMは第6、7グループ合同で開催をいたしました、開催主旨はロータリアンの輪を広め、情報交換の場にするを目的とし、ミーティング、記念講演、懇親会の3部構成にて開催いたしました。

ミーティングでは、11クラブの会長様からそれぞれに特徴ある活動報告をいただき、参加メンバーには今後の参考にさせていただけたと思います。

記念講演では、日光東照宮禰宜、高藤晴俊様による「世界遺産日光東照宮について」の講演をいただきました。400年前の絢爛豪華な造営物の陰には、人々の平和と国家安泰を願う彫刻等があったとの解説があり、現代においても参考になるお話と、現代人に欠けているものを改めて教えられた思いがします。

懇親会では、鬼怒川温泉ホテルのビュッフェを楽しみながら、エレキバンド、オーケストラ6を招いてのグループサウンズ飛び入り歌謡ショーとなり、若かりし日を思い出しながら楽しいひと時と、懇親を深めたと思います、次回も合同で開催する予定です。参加メンバー、実行委員会に感謝申し上げ報告といたします。



第4グループIM 報告

2012年2月19日開催

ガバナー補佐 牟田 紀一(益子RC)

昨年3月11日、あの突然の大地震が発生し、第4グループのIMは開催を断念いたしました。従いまして今開催は2年越しのミーティングとなりました。

2月19日(日)、第2520地区岩手県大船渡RC並びに大船渡西RCから、金昌治会長、金比呂正会長はじめ、須賀芳也幹事、金野孝幹事、浜守豊秋復興支援委員長などの皆様方をお招きして「被災地大船渡に学ぶ・復興と支援」をテーマとした第4グループのIMを、アプローズ益子を会場にして午後3時から開きました。

当地区から瀬下龍夫直前ガバナーをお迎えし、大船渡を襲う大津波の映像、金昌治会長による講演に耳を傾け、復興の困難さと息の長い支援の必要を知ったIMとなりました。懇親会の食卓には大津波から復活した新鮮な「三陸生わかめ」がお土産として提供され、プリプリの食感の酢の物に舌鼓を打ち、こちらからは益子産コシヒカリ1トンを支援米として贈呈をいたしました。

また、2720地区愛知県常滑RC、東京日野市飛火野RC、アメリカ・カリフォルニア・レッドランドRC、そして鈴木宏ガバナーエレクトにも飛び入り参加をいただき、12名のお客様、110名の会員参加の充実した、そして有意義で賑やかなミーティングとなりました。



ロータリー財団およびロータリー米山記念奨学会功労者のみなさま

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。

2011年12月～2012年1月分

ポール・ハリス・フェロー

荻野 幾男	佐野 隆
寺内 治雄	栃木 隆
佐山 知也	栃木 隆
渡辺 嘉一	栃木 隆
小曾戸 健治	葛生 隆
浦野 隆	田沼 隆
岸野 房子	日光 隆
大塚 秋二郎	宇都宮 隆
大野 俊男	宇都宮南 隆
倉林 敬	足利わたらせ 隆
天下井 正弘	岩舟 隆
星野 詠一	鹿沼 隆

ベネファクター

山崎 悦夫	田沼 隆
長嶋 一郎	大田原 隆
佐伯 莞司	栃木南 隆

米山功労クラブ

鹿沼	34回
鹿沼中央	12回
葛生	23回
西那須野	35回
小山	27回
佐野	29回
宇都宮	36回
宇都宮西	37回
真岡	36回

それぞれの表彰規程につきましてはホームページをご覧ください。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

島田 嘉内	4回	馬場 俊一	3回	狐塚 泰久	1回
塚原 進	3回	駒形 忠晴	1回	西村 雄吉	4回
大木 洋	1回	江田 惣平	3回	下鳥 大作	3回
佐山 謙三	1回	長谷川 潤	5回	福田 春雄	1回
高田 正五郎	2回	亀田 清	1回	平山 定光	3回
若林 芳明	1回	山越 密雄	1回	織田 宏二	5回
板橋 博	3回	金子 重雄	1回	岩原 臣男	2回
関谷 和夫	4回	大関 輝雄	1回	中村 勝	1回
黒田 正和	3回	高野 徹也	2回	生井 俊一	1回
川又 茂三	2回	朝信 泰昌	1回	高橋 智純	2回
吉澤 浅一	2回	金田 秀壽	2回	福本 光夫	1回
谷 和文	1回	小保方 信聰	2回	小林 武人	1回
奥山 國之	6回	田中 正夫	1回	直井 章	2回
奥澤 松利	1回	山崎 静	1回	君島 孝明	1回
横塚 信也	5回	細川 彰	7回	鈴木 俊貴	1回
岩崎 昇一郎	1回	山崎 博通	4回	保坂 正雄	6回

米山功労者

堀井 正喜	今市 2回	小浦 正久	1回	小山 修	宇都宮北 2回
伊藤 徳三郎	今市 3回	佐野 智浩	1回	鈴木 宏	宇都宮北 8回～10回
狐塚 秀幸	今市 1回	茂田 覚二	5回	田村 晃	宇都宮北 1回
粉川 昭一	今市 1回	塚原 勉	4回	安齊 誠一	宇都宮南 3回
大柿 吉正	今市 3回	塚田 錦治	4回	平澤 照隆	宇都宮南 3回
川邊 清	鹿沼 1回	柳田 易孝	3回	市原 久典	宇都宮南 1回
小林 一彦	鹿沼 4回	山崎 泰勝	1回	小林 裕	宇都宮南 1回
大井田 宗継	鹿沼 1回	秋野 勝三	1回	鈴木 秀明	宇都宮南 4回
鈴木 良男	鹿沼 4回	福田 紳一	9回	高久 和男	宇都宮南 4回
高山 英	鹿沼 1回	島田 嘉内	4回	田中 正夫	宇都宮南 4回
山崎 博通	鹿沼 6回	篠崎 博司	17回	松井 昭	宇都宮西 5回
石原 滋人	鹿沼中央 4回	寺内 治男	3回	岡川 光佑	宇都宮西 13回
湯澤 英之	鹿沼中央 1回	筒井 雅之	3回	荒木 貞雄	宇都宮陽北 4回
原田 篤	鹿沼東 1回	梅澤 健二	4回	三井 良春	宇都宮陽北 2回
大門 喬夫	鹿沼東 4回	山田 二六	3回	寺田 美智子	宇都宮陽北 1回
野部 栄一	葛生 9回	横井 孝	1回	高田 修一	塩原 1回
奥山 國之	葛生 9回	青木 直樹	1回	藤沼 孝幸	大田原中央 2回
奥澤 松利	葛生 2回	長谷川 正	1回	君島 孝明	大田原中央 2回
小曾戸 健治	葛生 1回	小林 勇	1回	川永 作衛	大田原中央 3回
酒庭 和一	葛生 4回	宮田 初男	2回	小野田 裕	大田原中央 3回
吉澤 慎太郎	葛生 10回	佐藤 行正	1回	武田 光正	真岡 1回
國分 仁臣	那須 1回	関口 快流	4回	高橋 哲也	真岡 1回
大久保 義美	日光 2回	篠崎 昌平	4回	杉田 貞一郎	真岡 1回
氷見 定明	西那須野 5回	羽石 光臣	4回	木村 慎太郎	真岡 5回
星野 仁	西那須野 2回	林田 鐵弥	5回	金子 剛士	真岡 5回
大原 栄	西那須野 4回	藤田 克彦	1回	谷澤 享司	粟野西方 1回
関谷 直人	西那須野 6回	仲田 陽介	1回	齊藤 正	粟野西方 1回
古橋 家光	小山 3回	織田 宏二	15回		
吉光寺 俊夫	小山 4回	小倉 和己	3回		



Reach Within to Embrace Humanity

第2550地区 新入会員紹介



かたぎり かおり
片桐かおり

(那須RC)

お菓子の城 那須ハートランド
専務取締役
H24.1.26入会

世界の人々と友達になれるのは、とても楽しいことだと思います。



はやし しゅうぞう
林修三

(宇都宮RC)

農林中央金庫
宇都宮支店 支店長
H24.1.27入会

会員にさせていただき光栄です。よろしくお願いいたします。



よこぼり ぎとる
横堀学

(宇都宮東RC)

よこぼり耳鼻咽喉科
院長
H24.1.31入会

白沢街道沿い岩曾町で耳鼻咽喉科医院を開業しています。宜しくお願いします。



おお や やすひろ
大矢裕啓

(宇都宮RC)

大矢商事(株)
社長
H24.2.17入会

「無償の愛」という奉仕の理想を命題に勉強したいと思います。



や じ かずゆき
矢治和之

(宇都宮RC)

(株)ロココ企画装飾
代表取締役
H24.2.17入会

よろしくお願ひいたします。



おしやま としお
押山利男

(栃木西RC)

(株)栃木自動車教習所
業務推進部長
H24.2.18入会

よろしくお願ひいたします。



ほり い ひろゆき
堀井宏祐

(宇都宮RC)

(株)堀井
代表取締役
H24.2.21入会

よろしくお願ひいたします。

国際ロータリー第2550地区 2月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例会数	2月出席率		会 員 数								分 区	クラブ名	例会数	2月出席率		会 員 数										
			今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員				今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員			
第1グループ	大田原	4	89.50	88.65	34	33	0	0	1	2	-1	2	第5グループ	小山	4	96.40	97.62	38	36	0	1	0	2	-2	0			
	黒磯	4	89.21	93.88	43	42	0	0	2	3	-1	2		小山南	3	94.00	97.04	19	19	2	0	0	0	0	2			
	西那須野	4	86.14	88.79	39	39	0	1	1	1	0	0		小山東	4	90.15	88.75	33	33	0	0	0	0	0	0			
	黒羽	4	96.88	94.06	16	16	0	0	0	0	0	1		小山北	4	87.50	80.66	23	24	0	0	1	0	1	0			
	那須	4	78.00	73.29	12	13	0	0	1	0	1	2		小山中央	3	85.70	75.73	22	21	1	1	0	1	-1	1			
	塩原	5	68.89	70.65	9	9	0	0	0	0	0	0		第6グループ	栃木	5	81.00	85.59	34	35	0	0	2	1	1	0		
	大田原中央	4	82.00	76.88	27	27	0	0	0	0	0	2			栃木西	4	89.58	86.74	33	33	0	0	1	1	0	0		
	第2グループ	烏山	4	97.92	94.48	12	12	0	0	0	0	0			1	第7グループ	壬生	4	53.50	65.35	19	18	2	0	0	1	-1	2
氏家		4	84.78	88.18	23	25	0	0	2	0	2	0	栃木南		4		84.20	86.89	30	30	5	0	0	0	0	5		
矢板		4	48.00	59.65	28	28	0	0	0	0	0	4	日光		4		56.40	70.75	24	24	5	0	0	0	0	5		
馬頭小川		3	91.23	84.72	21	19	0	0	0	2	-2	0	第8グループ		鹿沼		3	75.77	73.81	62	66	1	0	5	1	4	1	
高根沢		4	83.30	79.38	18	18	0	0	0	0	0	0			今市		5	90.24	90.75	41	41	0	0	0	0	0	0	
第3グループA		宇都宮	4	81.40	75.43	87	95	3	1	15	7	8			0		第9グループ	鹿沼東	5	86.49	91.52	43	42	2	0	0	1	-1
		宇都宮西	4	86.31	88.81	68	68	0	0	1	1	0		0	栗野西方			4	93.70	91.38	13	12	1	0	0	1	-1	1
		宇都宮北	4	79.44	80.65	45	48	0	0	3	0	3		0	鹿沼中央			4	84.82	83.86	27	28	2	0	1	0	1	2
	宇都宮90	4	89.08	87.35	40	38	0	0	1	3	-2	4		今市きぬ	4	84.82		90.42	27	28	0	0	2	1	1	1		
	宇都宮陽北	4	83.93	84.41	29	30	0	0	2	1	1	3		第3グループB	足利	4		85.24	73.45	36	36	0	0	2	2	0	0	
	宇都宮東	4	91.02	93.40	92	92	0	0	2	2	0	0			足利東	3		80.40	75.43	58	58	8	0	0	0	0	8	
	宇都宮南	5	76.42	84.92	45	44	0	0	1	2	-1	0	足利西		4	86.53		79.55	13	13	0	0	0	0	0	0		
	宇都宮陽東	4	83.50	78.70	42	43	0	0	1	0	1	0	足利わたらせ		4	89.52		96.46	28	31	0	0	3	0	3	0		
宇都宮陽南	4	96.88	91.05	17	16	0	0	0	1	-1	2	第4グループ	佐野		4	86.20	88.76	60	67	0	0	7	0	7	0			
第4グループ	真岡	4	90.60	89.33	51	53	0	0	2	0	2		0		葛生	3	84.40	89.98	32	32	0	0	1	1	0	0		
	益子	4	88.70	92.88	29	27	0	0	0	2	-2		0		田沼	4	84.40	89.59	36	37	0	0	1	0	1	0		
	真岡西	4	90.86	87.48	37	37	0	1	4	4	0		6		佐野東	4	96.59	88.26	22	22	0	0	0	0	0	0		
	しもつけ	4	92.50	92.73	33	32	0	0	0	1	-1		8	岩舟	4	74.00	70.94	21	21	1	0	0	0	0	1			
														5 O R C		84.56	84.58	1691	1711	33	5	65	45	20	67			

文・庫・通・信 (294号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

●ロータリー創立記念日にあたって

申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)

- 『70周年に当り創世期のロータリーを憶う』 平島健次郎 1975 7p (ロータリー入門)
- 『これがロータリーだ』 直木太一郎 1983 41p (私のロータリー、50年)
- 『平凡で偉大なロータリー精神』 末永直行 1972 20p
- 『シェルドン…忘れ得ぬその名』 ジョン O. ナットソン：神崎正陳訳 1998 12p
- 『ロータリー財団の父アーチ C. クランフの人となり』 鳴海淳郎 2000 9p
- 『ロータリー進化論』 前原勝樹 (1985) 19p
- 『ロータリーの組織と奉仕』 深川純一 2001 68p
- 『ロータリー広報乃王道』 佐藤千壽 1997 34p
- 『米山梅吉と日本のロータリー(抄)』 長井盛至 1983 31p
- 『四つのクラブの七つの驚き』 安積得也 1977 44p (おゝロータリアン)

以下、申込先が変わります……

- 『我が自叙伝』 ハーバート J. テーラー著：菅野多利雄訳 1990 219p
- [申込先：緑ヶ丘病院 FAX(022)365-3000]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 URL <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館時間：午前10時～午後5時 休館日：土・日・祝祭日

各ロータリークラブでお知らせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。

益子参考館再建へさらにご協力を

財団法人益子参考館 副館長 濱田 友緒

昨年の大震災から1年が経ちました。陶芸の里・益子は多くの窯元や販売店で窯や作品などが破損して、甚大な被害を受けました。そして、私どもが運営する濱田庄司が設立した美術館「益子参考館」も同様に被害を受けました。庄司が使用していた登り窯が2基崩壊、大谷石の展示館の石壁に大きな亀裂が入り、作品も多数破損するなど、あまりの被害の大きさに当分は休館を覚悟しましたが、大勢の方のご支援、ご助力をいただき部分的に改修しまして、現在臨時開館というかたちで毎日のように来館者をお迎えてしております。しかし最も被害の大きかった大谷石蔵展示館2棟などの再建費用約8,000万円を益子参考館が自力で対応することが難しいため、皆様から寄付をいただき再建を図ることとなりました。

現在、日本民藝館の小林陽太郎館長を発起人代表に、大塚朋之益子町長を運営委員長として「益子参考館震災再建基金」を設立し、益子町や栃木県の有志を中心に全国の民藝関係者や理解支援者に発起人になっていただき、広く寄付活動を展開しています。また、益子参考館内外でチャリティー販売イベントを開催するなど、益子の販売店や各



地での販売会での収益金をお寄付いただきまして、おかげ様で現在約5,000万円まで達しており、目標額までもう一息というところまでできております。4月以降には再建に向けた具体的なプランを作成し、濱田庄司設立の往時の様子を活かしながら、現代のニーズに合った活動も盛り込んで行けたらと考えております。

「益子参考館は益子のシンボルであり、その復興は益子の未来に向けての復興のシンボルでもある」という益子町の大塚町長のお言葉を受けまして、益子参考館はもとより、益子の価値を再認識し、そこに集う人々を力づけるものとして、復興再建に向けて全力を注ぐ所存です。ロータリーの皆様にもすでに多大なるご

支援をいただいておりますが、さらに着実な再建を図るべく寄付を広く募っていきたく存じます。今後とも何とぞご理解、ご助力頂きますようよろしくお願い申し上げます。

益子参考館震災再建基金のホームページ

<http://www.sankoukan-saiken.net/index.html>
facebookにも基金のページがございますので、ご覧ください。

益子参考館復興支援について

益子ロータリー・クラブ 情報委員長 平野 良和

財団法人「益子参考館」は、人間国宝である陶芸家濱田庄司が感動し創作の参考とした蒐集品、古今東西、約2,500点の工芸品を公開展示するため、自らの邸宅、工房の一部を開放し、昭和52年に開館しました。以来34年、多くの人たちが浜田の感動に共感し、それぞれの立場で参考としてきました。

このたびの東日本大震災で、益子町は震度6を記録、益子参考館も大谷石造りの展示館、収蔵品を含め、甚大な被害を受けました。

そのような中、濱田庄司を語り継いでいくこと、すなわち益子参考館の再建は、私たちの未来に対する責務であるとの声が国内外から沸き起こりました。それを受け、小林陽太郎日本民藝館館長を発起人代表に「益子参考館震災再建基金」が設立されました。

益子ロータリー・クラブではその趣旨に賛同し、「再建基金」に100万円を寄付するとともに啓蒙活動に取り組んでいるところです。

